

平成27年度秋冬作野菜花き関係 除草剤・生育調節剤試験判定結果

(公財)日本植物調節剤研究協会 技術部

平成27年度秋冬作野菜花き関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、平成28年7月12日(火)に浅草ビューホテルにおいて開催された。

この検討会には、試験場関係者25名、委託関係者11名ほか、計47名の参集を得て、除草剤9薬剤(37点)、生育

調節剤1薬剤(33点)について、試験成績の報告と検討が行われた。

その判定結果および使用基準については、次の判定表に示す通りである。

平成27年度秋冬作野菜花き関係除草剤・生育調節剤試験判定

A. 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	ねらい・試験設計等	判定	判定内容
1. BAH-0805 乳 ジメテナミドP:19.7% ペンディメタリン:23.1% [BASFジャパン]	タマネギ	定植前への拡大(マルチ:2年目)	実	実) [秋冬作、露地;一年生雑草] ・定植前 雑草発生前 ・全面土壌処理 ・200~400mL<100L>/10a [秋冬作、露地;一年生雑草] ・定植後 雑草発生前 ・全面土壌処理 ・200~400mL<100L>/10a
	タマネギ	定植前への拡大(無マルチ:2年目)		
	タマネギ	倍量薬害(マルチ)		
	タマネギ	倍量薬害(無マルチ)		
2. BAS-656 乳 ジメテナミドP:64.0% [BASFジャパン]	ブロッコリー	秋冬作への拡大(東北以南:2年目)	実	実) [秋冬作、露地;一年生雑草 (タデ科、アカザ科、アブラナ科を除く)] ・定植後、雑草発生前 ・全面土壌処理 ・50~75mL<100L>/10a
3. HPW-105 乳 トリフルラリン:33% IPC:11% [*保土谷UPL ダウ・ケミカル日本]	タマネギ	キク科雑草に対する除草効果の確認	実・継 (従来 どお り)	実) [秋冬作、露地;一年生雑草] ・定植後、雑草発生前 ・全面土壌処理 ・300~400mL<100L>/10a 継) ・薬量300mL<100L>/10aでのキク科、アブラナ科 に対する除草効果の確認
4. NH-007 フロアブル ピラフルフェンエチル :0.16% グリホサートイソプロピ ルアミン塩:30.0% [日本農薬]	タマネギ	畦間処理(2年目)	実・継	実) [秋冬作;一年生雑草] ・耕起7日以前 雑草生育期(草丈30cm以下) ・全面茎葉処理 ・400~600mL<100L>/10a [秋冬作;一年生雑草] ・タマネギ生育期、雑草生育期 ・畦間茎葉処理 ・400~600mL<100L>/10a 注) ・雑草の草丈30cm以下で散布する ・作物に飛散しないように散布する 継) ・耕起直前処理での薬害の確認 ・定植前処理での効果、薬害の確認

A. 野菜関係 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	ねらい・試験設計 等	判定	判定内容
5. NH-009 液 グルホシネート:18.5% [日本農薬]	タマネギ	定植前(初年目)	継	継) ・効果、薬害の確認
	タマネギ	畦間処理(初年目)		
	タマネギ	倍量薬害(定植前)		
	タマネギ	倍量薬害(畦間処理)		
6. アラクロール 乳 アラクロール:43% [日産化学工業]	タマネギ	定植後、雑草発生前(初年目)	継	継) ・効果、薬害の確認
	タマネギ	倍量薬害(定植後)		

B. 平成 27 年度 春夏作分 野菜関係 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	ねらい・試験設計 等	判定	判定内容
1. NP-55 乳 セトキシジム:20% [日本曹達]	セロリ	イネ科雑草3~6葉期(2年目)	実 (従来どおり)	実) [春夏作、露地;一年生イネ科雑草 (スズメノカタビラを除く)] ・セロリ生育期、イネ科雑草3~6葉期 ・全面茎葉処理 ・150~200mL<100~150L>/10a

C. 平成 27 年度 春夏作分 花き関係 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	ねらい・試験設計 等	判定	判定内容
1. SCC-010 液 グルホシネート:18.5% [日本アグロサービス]	ユリ	畦間処理	継	継) ・効果、薬害の確認
	トルコギキョウ	一年生雑草		
	ユリ	倍量薬害の確認		
	トルコギキョウ	倍量薬害の確認		

D. 平成 27 年度 春夏作分 花き関係 生育調節剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	ねらい・試験設計 等	判定	判定内容
1. NPK-063 水和 フルルプリミドール:50% [日本農薬]	トキワマンサク	新梢伸長抑制による剪定軽減効果	実・継	実) [ベニカナメモチ、カイズカイブキ、ヒバ、マテ バシイ;新梢伸長抑制による剪定軽減] ・萌芽2週間前または新梢伸長開始2週間前 ・土壌処理 ・800~2000g<100~300L>/10a 継) ・トキワマンサクでの効果、薬害の確認
	マテバシイ	新梢伸長抑制による剪定軽減効果		